

Hitotsuyama Racing

スポーツランドSUGO



- STC
- SUN'S CREATE Co., Ltd.
- A2 TECHNICA
- 印風 房間
- Onion logo
- AOBA Driving School
- VERVE logo
- StarFive Motor Racing Store
- R'S DESIGN MOTORSPORTS

- MSTASHI
- M's Auto Mobile Service
- DRIVING COLLECTOR
- OFFICE SUPPORT
- アーバースホール
- 3P RACING GEAR PRINT SERVICE
- PLAT2
- PROTEX

2019 TCRJapan Rd2

サーキット：スポーツランドSUGO

総エントリー台数：16台
チーム名：Hitotsuyama Racing
ドライバー：篠原 拓朗

第1戦

予選結果：2位

決勝結果：2位

第2戦

予選結果：1位

決勝結果：リタイヤ

6月20日	
練習走行	40分間×2本
6月21日	
練習走行	30分×3本
6月22日	Saturday Series第2戦
	予選(20分)
	決勝(23分+1Lap)
6月23日	Sunday Series第2戦
	予選(20分)
	決勝(23分+1Lap)

～木曜日～ ドライ

S1

今回よりフロントのダンパーが新しくなりました。動き自体は伸び縮みがとてもわかりやすく、非常に走りやすい状態でした。リア72kmユーズドのタイヤをフロントに使用して走行しました。

ハイポイント・レインボーでフロント荷重がかかった時に沈みきる際に底打ちし、途中で動きが止まってしまうのでフロントダンパーを6→5に変更しました。少し柔らかくした状態です。

セット確認をしたところで、リアで189km走行したタイヤをフロントに付けてアタックしました。

フィーリングはオーバーステアが強かったですが、Newタイヤを履いた時の事を考えると良い状態だと思います。また、そのままロングテストを行いました。SUGOは右コーナーが多いため、右コーナーをきちんと労わり、左コーナーでは少し攻めた状態での走行をしました。12周でしたがタイヤも持ちロングのペースも良い状態で保てそうです。

S2

SUGOは1周が短いため、リアタイヤの熱入れをアウトインではなくストレート1周通過で行いました。その後に前後のタイヤを入れ替えてアタックという流れになります。各コーナーの初期はとても曲がりやすく、ブレーキを使うコーナーによってはオーバーステアにもなります。しかし、3コーナー・レインボー・SPとミドルからもう少し曲がって行って欲しい状況でした。

フロントタイヤのみもう一度Newタイヤでアタックする際に、フロントの沈み込みを大きくする為にフロントの車高を3mm上げて試みした。しかし他のコーナーでもアンダーステアが酷くなるのみでタイムアップせず方向性は外れてしまいました。明日に向けてはフロントのスタビを1つ緩め、3コーナー・レインボーは荷重のかけ方を変えて臨みます。

～金曜日～ ドライ

S1濃霧によりキャンセル

S2

大きく変更するのを嫌い、フロントダンパーのバンプを1つ緩めてアタックしました。最終コーナー以外はフロント荷重がかかりやすく走りやすくなりましたが、最終コーナーで向きが変わりにくかったです。また、全体的に少しアンダーステア方向になっておりフロントを使ってしまっている為、2周目以降のタイムの落ち幅が非常に大きかったです。

タイムは出ていますが良いフィーリングではなかったため、3本目はフロントスタビを1つ緩めてリバンプを1つ硬めて走ります。

S3

走り出しはNewタイヤでS2のセットからフロントスタビを1つ緩め、リバンプを5→6という変更で走り出しました。アタック1周目は前車に引っかかってしまい、2周目に再アタックとなりましたが2周目でもタイムを出す事が出来ました。(1.28.0) S2では考えられない事だったので良い方向に進んだと思います。1周目できちんとアタックが出来ていてもタイム差はコンマ3程でした。その後ピットインし、最後の確認で気になっていたフロントのスタビをミディアムに戻してリバンプは6の状態です。フロントのみNewタイヤを履いてアタックしました。車の剛性感が上がり、最終コーナーでも入り口でしっかり向きを変えて全開ポイントが早くなったと思います。タイム自体も想定より良く(1.27.5)、ロガーデータでの仮想ベストとも100分の1秒差としっかりしたアタックが出来たと思います。

また、S3ではツーリングカーで予選アタック時の縁石の使い方なども理解出来て良かったです。

明日は更にタイムを伸ばして行けるように走り方を詰めていきます。

Saturday Series

第2戦

予選

ドライ

予選前に雨が少し降ってくる状況の中でスタートしました。雨が降り続けてタイムが出なくなる事を考えると少しでも早くアタックしてタイムを残しておきたい状況でしたが、雨雲レーダーを見ると雨が強くなる傾向はなかったのでレーダーを信じて作戦通りのアタックを行いました。

ピットアウトしてからストレートを1周通過してからピットに入りタイヤの前後入れ替えを行いました。

アタックするためにピットアウトした際の位置よりも非常に良く、大きなミスもなくアタック出来て良かったです。SuperFormula・F3が走ったことにより路面は少し変化し、少しアンダーステアになりましたがトップタイムを出す事が出来ました。

決勝に向けてはまた非常に不安定な天気になっているので、状況によって判断しながらセット変更を行う予定です。

決勝

ドライ

ローンチコントロール・サイドブレーキを使用してスタートしましたが全く加速せず1コーナーまでに4位まで落ちてしまいました…

その後はペースも良く追い上げてトップとの接近戦になるも、突破口を見出せずそのまま2位でのゴールとなりました。車の状態も良く、問題はスタートのみなのでサンデーレースに向けてはスタートの方法を変えて臨みます。とても悔しいですが、ツーリングカーでのスタートを得意分野にもっていけるようにします。

勝てずに申し訳ございません。



Sunday Series

第2戦

予選

ドライ

サーキット到着時は前日に降った雨の影響により路面は濡れていましたが、1つ前にN-ONEが走行したためレコードラインは乾いた状態で走る事が出来ました。

馬の背コーナーのブレーキポイントは内側が少し濡れていて、走れば走るほど路面は良くなる状況です。昨日の予選ではNewタイヤを1セットしか使用しなかったため今日は2セットフロントにNewタイヤを使う事が出来ました。

前日までのラバーが無くなり、車が自分の好きなオーバーステアの状態であったため、良い手応えでアタックが出来て良かったです。2アタックともそれぞれのタイミングでトップタイムを出せましたが、後半一度抜かれたタイムを最後のアタックで更新出来た事は自信に繋がりました。

とにかくスタートを決めて勝ちたいです。

決勝

ドライ

悔しいの一言です。スタートでは昨日の反省を活かし、ローンチコントロールを使用せず自分の足の操作のみでスタートしました。昨日よりも良いスタートが出来、ローンチコントロールが優れているシビック2台と3ワイドになりながら1コーナーに入っていたところで接触し、リタイヤとなってしまいました。

絶対的な速さがあったので非常に悔しいです。自分で台無しにしてしまいました。

応援して下さい下さった方々申し訳ございません。



まとめ

今回のレースウィークは速さを結果に結びつけられず、本当に悔しいです。

木曜日の2本目の走行から日曜日の予選まで全てトップタイムで走ることが出来ました。また、予選では前戦のオートポリスから3戦連続のポールポジションを獲得出来ております。この様な素晴らしい環境を用意して下さいました皆様、速い車を用意して下さいましたチームの方々ありがとうございました。

スタートはもっと良いスタートを決められる様に、また予選から決勝の流れをしっかりと作り次戦で勝ちきります。

応援して下さいありがとうございました。

また次戦も宜しくお願い致します。

